

国立国語研究所学術情報リポジトリ

表紙,目次,奥付,その他

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2019-03-05 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	https://repository.ninjal.ac.jp/records/1863

日本語教育論集

25号 2009

[本号の読みどころ]

[研究論文]

日本語教育における「実践研究」論文の質的变化

—学会誌『日本語教育』をてがかりに—

市嶋 典子

文章の難易度とパラフレーズとの関係

—中国人・韓国人日本語学習者と日本語母語話者の比較—

鎌田 美千子・仁科 喜久子

実習体験で教師イメージがどのように変わるか

—PAC分析による非母語話者実習生の事例研究—

張 瑜珊・穆 紅・野々口 ちとせ

[特集：日本語教育における実践研究]

座談会：日本語教育に求められる実践研究とは何か

実践の公表に向けて

文野 峯子・阿部 洋子

[英文要旨]

[論文一覧 (1号～24号)]

日本語教育論集

25

2009

日本語教育論集第25号

目次

本号の読みどころ	1
[研究論文]	
日本語教育における「実践研究」論文の質的变化 —学会誌『日本語教育』をてがかりに—	市嶋 典子 3
文章の難易度とパラフレーズとの関係 —中国人・韓国人日本語学習者と日本語母語話者の比較—	鎌田 美千子・仁科 喜久子 19
実習体験で教師イメージがどのように変わるか —PAC分析による非母語話者実習生の事例研究—	張 瑜珊・穆 紅・野々口 ちとせ 35
<hr/>	
[特集：日本語教育における実践研究]	
座談会：日本語教育に求められる実践研究とは何か	52
実践の公表に向けて	文野 峯子・阿部 洋子 71
<hr/>	
[英文要旨]	85
[論文一覧 (1号～24号)]	89
編集後記	95

◆◆◆◆◆「日本語教育論集」バックナンバー◆◆◆◆◆

『日本語教育論集』は日本語教育および日本語教師教育の内容・方法に関わる研究，特に，教育実践にもとづいた研究，新たな視点に立つ研究，将来の展開が期待される研究の成果を積極的に公表することにより，日本語教育の発展に寄与することを目的にして，年1回，1984年より25年間にわたって刊行してきました。以下，その25年間で，「日本語教育論集」に採録された論文を紹介します。日本語教育研究に御活用いただければ幸いです。

◆日本語教育論集1

- ・刊行のことば／野元菊雄
- ・日本語語彙・表記などについての日本人の知識・感覚の一側面／石井久雄
- ・後接辞による「な形容詞」の分類一特に「な」「の」のつき方から見て一／柳沢好昭
- ・日本語教育のためのタラとバの分析／鶴田庸子
- ・中国からの帰国者のための「貿易日本語」の試み／西口光一

◇日本語教育論集2

- ・日本語教育のためのコースデザイン法／田中望
- ・理科系の学生のための読解教材に関する一考察／足高智恵子・池上摩希子
- ・とりたて詞としてのダケ，バカリの用法／河東郁子
- ・聴解を優先する教授法の応用／奥津令子
- ・「中国帰国者」と日本語教育／小林悦夫

◆日本語教育論集3

- ・結束性と日本語教育／飯島昭治
- ・シミュレーションによる中級プログラムの試み／猪崎保子・梶井恵子・工藤節子・バルダン田中幸子・堀内みね子
- ・依頼機能の分析／梶井恵子
- ・非・項目積み上げ式教授法のすすめ／清地恵美子
- ・言語教育への非分割アプローチ／古川ちかし

◇日本語教育論集4

- ・曖昧名詞句内の超分節的要素／荒井雅子
- ・ベトナム語の発音とベトナム語話者の日本語の発音に関して／上条厚
- ・心理的否定詞ナイとその日英比較／木原節子
- ・適性テストの可能性／橋本博子

◆日本語教育論集5

- ・多義的動詞の自・他対応―「あがる・あげる」を例として―/沼田善子
- ・インタビューにおける非言語行動―目の動きの記述―/池田優子
- ・日本語の再帰動詞について/笠井久美子
- ・未知語推測能力（ワードアタック）と文化的親密度について/金原由紀
- ・文の接続―そしての想定に必要な補足語句の分析―/横山紀子

◇日本語教育論集6

- ・学習のとらえ方と教室活動/石井恵理子
- ・中国からの帰国者の日本語教授における新しい試み/小田切由香子
- ・日本語教育における学習者と教師の相互交渉について/金田智子
- ・発話の重なり現象の考察―電話の会話分析―/吉田智子

◆日本語教育論集7

- ・教員は自分自身をどう変えられるか/古川ちかし
- ・コミュニケーション行動能力分析の試み/池上摩希子・井本美穂
- ・日本語学習者の文化適応について/内海由美子
- ・学習者間の相互交渉/川岸睦美
- ・L2教室内における「修正」に関する一考察/吉岡慶子
- ・学習者のピリーフスとラーニングストラテジー/渡辺晴世

◇日本語教育論集8

- ・「考える教師」の可能性をめぐって/Gehrtz 三隅・河東郁子
- ・プロジェクトワークにおける学習者の意識と行動の変化/北村尚美・篠原牧子・稲子あゆみ
- ・学習者の心理態度とインターアクション/佐々木香代子
- ・Error correction : changes in thinking and behavior of teachers in a school simulation/
Catherine Jonak
- ・刺激回想法をとおして見た教師の内省と自己評価の考察/春原憲一郎

◆日本語教育論集9

- ・教師のダイアリー―自己のダイアリー分析の試み―/下平菜穂
- ・教員の自己改善における同僚の役割の一考察/高橋優子・柴原智代
- ・在日外国人児童・生徒への日本語教育に対する多文化教育的一考察/野山広
- ・Language learning strategies : a "better language learner" re-defined/Peter Grainger
- ・日本語教師研修と「他者の視点」―インタビュー活動を例として―/村岡英裕

◇日本語教育論集10

- ・学習者の個別化と教育革新／柳沢好昭
- ・Self-repair: what is the teacher's role in encouraging students to repair their own language?／Marshall Gillian
- ・待遇的配慮が言いにくさに与える影響について―日西母語話者のアンケートから―／中溝朋子
- ・日本語のほめの使用に関する一考察―ウチとソトの観点から―／小玉安恵

◆日本語教育論集11

- ・助言は教師を育てるか：指導教師と実習生の助言の関係における一考察／佐々木香代子
- ・Japanese teaching assistants in the Australian Japanese language classroom.／Gesling Anita
- ・教師ジャーナルによる授業の自己評価と内省／菅原和夫
- ・学習者の評価の視点を取り入れた授業改善の試みについて／長原明子
- ・日本語学習者とのサポート関係―傾聴・理解からの関係形成―／山崎恵子
- ・中・上級日本語学習者のニュアンス理解の研究―評価性を伴う副詞的表現を中心に―／大関真理
- ・日系・非日系ブラジル人就労者の異文化適応―アイデンティティの変容から―／岡原地歩

◇日本語教育論集12

- ・外国人留学生の日本人学生との対人関係構築に関する調査研究／滝沢知子
- ・自己評価能力の育成：オーストラリアの元交換留学生の話しことばについて／橋本博子
- ・学習者主体の授業への手がかり―学習者の意識調査をもとに―／印道緑・岡野ひさの
- ・JFL場面における「ビリーフス」調査の重要性と活用に関する一考察―豪州・メルボルン地区の高校生の場合を事例として―／野山広
- ・ビジターセッションを通じた学習者の自律化への試み―エル・コレヒオ・デ・メヒコ（メキシコ）における実践例―／中溝朋子

◆日本語教育論集13

- ・文章理解における語句の意味の推測過程について／加藤由香里
- ・日本語ボランティアと配偶者との関わりに関する考察―日本語ボランティア活動に関する意識をめぐって―／阿武桂
- ・ダイアリースタディーによるコースの問題発掘の試み―改善の糸口を求め現場教師が行ったクラスルームリサーチ／坂谷佳子
- ・教科学習のための指導に関する一考察―年少者日本語教育の立場から―／太田垣明子

◇日本語教育論集14

- ・日・英語新聞社説における書き手・読み手関係―対照修辭論の一考察―／西原鈴子

- ・ Self-assessment of oral communication in Japanese and the possibilities and limitations of incorporating self-assessment in language learning. / 岡部真理子
- ・ フランス人日本語学習者と日本人のインタビュー会話にみられる談話管理とやりとりの展開について / 猪崎保子
- ・ 地域におけるボランティア日本語教室の現状と課題—インタビュー調査及び二つのグループの事例を通して / 二通信子・大井裕子・喜多村喜美江

◆日本語教育論集15

- ・ 片仮名教材の内容と方法—十七冊の教材の分析— / 中山恵利子
- ・ 日本語教科書の中の男女の描かれ方 / 鈴木有香
- ・ 日本語母語話者を活用したポスターセッションの効果と可能性 / 斉藤伸子
- ・ 日本事情のためのプロジェクトワークの試み—都道府県のホームページを活用する— / 半田淳子

◇日本語教育論集16

- ・ ある中国人児童の来日2年間の助詞機能の使用状況—発話資料と作文資料の縦断調査報告— / 松本恭子
- ・ 初対面場面における不同意表明と調整のストラテジー / 末田美香子
- ・ 外国人宣教師の日本における伝道と日本語学習—9人の宣教師へのインタビューから— / 今井美登里
- ・ 自律学習を促す自己評価活動—認知的アプローチを取り入れた日本語教育実習指導の試み— / 青木ひろみ

◆日本語教育論集17

- ・ ポライトネス理論の実証的考察—心理的負担の度合を中心に表現の長さの観点から— / 伊藤恵美子
- ・ 複文の後件に立つ受益文について / 岡田久美
- ・ 助詞の誤用へのフィードバックと誤用率の変化—インタビューの文字化資料を用いて— / 坂本勝信
- ・ 日本語学習者の話しことばについての自己評価とその視点—日本での長期滞在経験のある学習者の場合— / 山口（岡部）真理子
- ・ 実践共同体としての日本語クラスに関する—考察 / 下平菜穂

◇日本語教育論集18

- ・ 韓・中日本語学習者の非現場指示の使い分けに関する研究—複数使用可能な指示詞のソ系とア系を中心に— / 安龍洙
- ・ 主題提示「って」の用法と機能 / 竹林一志

- ・研究方法にであうまで—教師研修での気付きについて—／本間淳子
- ・日本語母語話者と学習者による前置き表現の印象の相違／山下みゆき

◆日本語教育論集19

- ・日本語教育実習生の授業への態度—現職教師との比較—／才田いずみ
- ・中国長春市における教師勉強会とメーリングリストの活用／西谷まり
- ・上級日本語学習者に対するポジショニングマップを用いた語彙指導—印象・感想を述べる手段としての形容詞—／黒崎誠・黒崎亜美・播岡恵・丸山伊津紀
- ・連体修飾構造の習得における母語の影響について—過程的転移としての「の」の過剰使用—／小山悟

◇日本語教育論集20

- ・漢字語彙力の評価と漢字教育の方法—教育現場での実践研究のあり方を探る—／加納千恵子
- ・台湾人上級日本語学習者の初対面接触会話におけるスピーチレベル・シフト—日本語母語話者同士による会話との比較—／陳文敏
- ・「質問—説明」連鎖の終了に関する質的研究—初級日本語クラスの一斉授業の場合—／文野峯子
- ・現職日本語教師の言語教育観—良い日本語教師像の分析をもとに—／八木公子

◆日本語教育論集21

- ・遠隔外国語学習における学習支援者の役割—フランス語教育の実践例より—／田中幸子・常盤僚子・茂木良治
- ・多言語多文化共生日本語教育の意味づけ—実習生の「語り」を通して—／古市由美子
- ・日本語教師のためのCooperative Development—教師としての自己成長をめざして—／野口直子・及川千代香・本間淳子
- ・自律学習を基盤とした個別対応型日本語授業に関する一考察—教師の役割を手がかりに—／三宅若菜・福島智子

◇日本語教育論集22

- ・韓国人日本語学習者を対象とした日本語の文構成能力に関する研究／金宥暻
- ・副詞「きっと」の習得に関する研究—中国人日本語学習者における典型的用法から考える—／王冲
- ・辞書検索能力を養成する初級漢字カリキュラムの理念と実践／柳町智治・副田恵理子・平塚真理・和田衣世
- ・「こうして」の意味と用法—談話を終結させる機能に着目して—／俵山雄司

◆日本語教育論集23

- ・日本語学習者による格助詞の混同—存在場所の「に」と範囲限定の「で」—／岡田美穂・林田実
- ・文法学習に関する信念・態度、学習ストラテジー、学習成果の関連—暗示的帰納的指導のコンテキストの中で—／向山陽子
- ・学習者は「ね」の意味をどのようにとらえているか—「ね」の自然さに関する評定調査に基づく考察—／堀池晋平

◇日本語教育論集24

- ・日本語教育において「教科書で教える」が意味するもの／丸山敬介
- ・教科書ができることとできないこと—「文型積み上げ式初級教科書で教える」とは—／品田潤子
- ・これからの日本語学習を教材で支援するために必要なこと／柴原智代・島田徳子
- ・第二言語及び外国語としての日本語学習者における現場指示の習得—台湾人の日本語学習者を対象に—／孫愛維
- ・「進学動機の自覚を促す」日本語教育実践の意義—レポート分析とエピソード・インタビューを基に—／市嶋典子・長嶺倫子

◇・◇・◇・◇編集後記◇・◇・◇・◇

第25号には12編の投稿があり、厳正な審査を経て、研究論文3編が掲載されることとなりました。また、今号では本論集刊行の目的にも掲げられていた「教育実践にもとづいた研究」の発展を目指し、「日本語教育における実践研究」というテーマで特集を組みました。この特集に対し、一般からの投稿は呼びかけませんでしたが、実践研究に関する研究実績や実践研究そのものの実績をお持ちの方々にお集りいただき、座談会を開催し、その記録を掲載しました。同時に、本論集の編集委員を務めて来られた二人の方に、これまで本論集に寄せられた実践研究論文を分析していただき、実践研究のあり方について、論考をおまとめいただきました。いずれも、日本語教育の世界における、実践研究の課題を概観するものであり、よりよい実践研究を探っていくための具体的な提案がなされています。御多忙の中、座談会に御参加くださった先生方、論文をお寄せくださった先生方に心より御礼申し上げます。

『日本語教育論集』は、日本語教育の実践に基づいた研究を積極的に紹介することを主な目的としてきました。2009年9月30日の、国立国語研究所の独立行政法人から大学共同利用機関法人への移行とともに、本論集は四半世紀にわたった刊行の歴史にいったん幕を閉じます。実践研究の発展のために本論集が微力ながら担ってきた役は、今号をもって降りることになりますが、日本語教育の世界で、その根幹であり続ける「教育実践」を課題とした研究が今後も発展することを願ってやみません。

編集委員会（記：金田智子）

『日本語教育論集』25号 執筆者

市嶋 典子 (早稲田大学大学院日本語教育研究科博士後期課程)
鎌田美千子 (宇都宮大学留学生センター)
仁科喜久子 (東京工業大学留学生センター)
張 瑜珊 (お茶の水女子大学人間文化研究科博士後期課程)
穆 紅 (お茶の水女子大学人間文化研究科博士後期課程)
野々口ちとせ (お茶の水女子大学文教育学部)
文野 峯子 (人間環境大学)
阿部 洋子 (国際交流基金日本語国際センター)

『日本語教育論集』編集委員会委員

阿久津 智 (拓殖大学)
阿部 洋子 (国際交流基金日本語国際センター)
井上 優 (国立国語研究所)
宇佐美 洋 (国立国語研究所)
金田 智子 (国立国語研究所)
河野 俊之 (横浜国立大学)
野山 広 (国立国語研究所)
文野 峯子 (人間環境大学)

査読協力者 (所属略)

丸山 千歌, 水野 義道, 黒野 敦子, 才田いずみ, 門倉 正美

事務局

二瓶 知子 (国立国語研究所)

日本語教育論集 25

発行 平成21年3月 平20-14
編集 独立行政法人国立国語研究所
日本語教育基盤情報センター
〒190-8561東京都立川市緑町10-2
TEL:042-540-4300 (代表)
FAX:042-540-4333 (代表)
URL:http://www.kokken.go.jp/kanko/nihongo_kyouiku_ronshu/

2009

日本語教育論集

ISSN 1346-9762